



国土交通省 北陸地方整備局  
阿賀野川河川事務所

## 高校生への就業体験（インターンシップ）を支援します ～ 職業学科・高校生へ将来の就職に備えて、河川工事現場を体験 ～

阿賀野川河口部左右岸（-0.2k～3.2k間）では、地震による液状化<sup>えきじょうか</sup>により河川堤防が沈下・破壊、堤防の機能・役割が低下することを防ぎ、被害の軽減・防止を目的に堤防耐震対策工事を実施しています。

現場では、現在、「砂杭工法」<sup>すなくい</sup>「鋼矢板圧入工法」<sup>こうやいたあつにゆう</sup>を中心に大規模に工事を実施しています。

堤防耐震対策工事の請負業者（株）伊藤組<sup>いとうぐみ</sup>（本社：新発田市）では、新発田南高等学校土木科の生徒を対象に就業体験を計画しています。

学校での授業を実際の現場で体験、自分達の将来に関連する土木工事を身近で見ることで、地域の人材育成に貢献することになります。

阿賀野川河川事務所は、将来を担う学生が地域の安全・安心のための治水事業の重要性を認識していただき、就労意識の向上、人材の育成を支援します。

- ①体験日時：平成24年9月19日（水）3年生 9時30分～11時00分 約40名  
2年生 13時30分～15時00分 約40名

※洪水の発生の恐れがある場合は中止します。

- ②対象学校：新潟県立新発田南高等学校 土木科3年生及2年生

- ③体験場所：阿賀野川右岸3.0k付近（阿賀野川大橋右岸上流側、新潟市北区濁川地先）  
濁川（上）堤防耐震対策工事 請負業者：（株）伊藤組 渡邊現場代理人  
集合場所－阿賀野川「大地震に備える川づくり」見学室（北区西名目所地先）

- ④体験内容：阿賀野川堤防耐震対策事業概要、施工方法説明、工事見学など

取り扱い	配布をもって解禁
------	----------

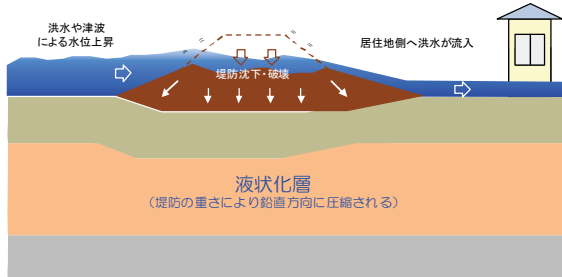
<p>同時発表</p> <p>新潟県政記者クラブ</p> <p>新潟県政記者クラブ（新潟）</p>
---

<p>問い合わせ先</p> <p>阿賀野川河川事務所 工務課長 伊藤 善和 電話0250-22-2211（代）内線311 （株）伊藤組 現場代理人 渡邊 淳 電話090-2495-3751※非通知着信はご遠慮下さい。</p>
--

## ■対策のしくみ

地震対策工をしない場合は、地震による液状化で河川堤防が沈下・破壊し、堤防が本来もつ洪水を安全に下流へ流すなどの機能・役割を果たしません。地震対策工を実施することで、堤防下液状化層の変動が抑えられ、沈下・破壊を抑制します。このため、洪水や津波の河川遡上に伴う水位上昇にも耐え、居住地側へ流入する洪水に対し人命・家屋などの資産を守ります。

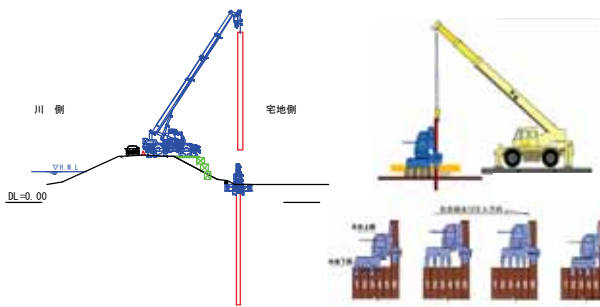
【耐震対策を実施しない場合】



## ■対策工法

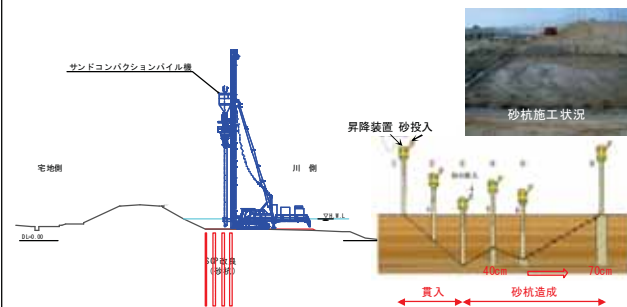
### ①鋼矢板圧入工法

振動・騒音といった建設公害を発生させずに、油圧により鋼矢板を地中に押し込んでいく工法。



### ②サンドコンパクションパイル工法 (砂杭工法)

砂杭により周辺地盤を締め固める工法。今回は、人家が近接するため、静的な圧入により無振動・無騒音で締め固め砂杭を作成する。



■阿賀野川河口部の堤防耐震対策工事（平成23年度から平成25年度までに東日本大震災復旧・復興河川整備事業〔復興枠〕により工事を実施予定）

